います。みなさんには大変、ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いします。

移転先 糸島市二丈深江573（元JAバンク深江支店）

問い合わせ 糸島警察署 ☎(323)0110

福岡県母子世帯等実態調査にご協力を

この調査は、5年ごとに実施しており、「母子世帯」、「父子世帯」、「養育者世帯」の生活実態調査や要望事項などを調査し、今後の政策の充実と効果的推進を図るための基礎資料として利用されます。

調査対象となった世帯には、調査員証を携帯した調査員が訪問しますので、ご理解とご協力をお願いします。

※養育者世帯には、事前の予備調査を実施します。

対象 無作為に抽出した県内の母子世帯3750、父子世帯2000、養育者世帯1000

調査期間 11月1日（火）～11月21日（月）

問い合わせ 福岡県福祉労働部児童家庭課 ☎(643)3257

11月は児童虐待防止推進月間

平成12年11月に法律が施行されたのを機に、11月を「児童虐待防止推進月間」と定めています。

児童虐待を防ぐには、子どもの変化に注意を払うことが必要で、身近な人の早期発見や通告などが手がかりとなります。「児童虐待では？」と思われた時は、すぐにご連絡ください。

※出産や子育てなど、全般的に相談を受け付けています。

問い合わせ・相談

家庭児童相談室 ☎(332)2074

子育て支援センターすくすく ☎(321)0464

福岡児童相談所 ☎(586)0023

美術館だより

- 会　場 …… 伊都郷土美術館
- 入場料 …… 無料
- 開館時間 …… 9時～17時（入館は16時30分まで）※初日は12時～、最終日は16時まで

第3回井上デッサン会 裸婦デッサン作品展

20人の会員が鉛筆、コンテ、木炭などを使い、5分から20分ほどの時間内に裸婦モデルの姿を素早くとらえて描いた単色のクロッキー（速描画）を約50点展示します。

期　間 11月15日（火）～11月20日（日）

問い合わせ 井上公男 ☎(327)4561

糸島市の交通事故・火災発生状況（9月中）

交通事故		火災発生	
件　数	59件	件　数	2件
死　者	1人	建　物	1件
傷　者	81人	その他	1件
		救急車出動	265件

糸島シティマップ掲載内容のお詫びと訂正

糸島市が資料を提供して、今年9月に発行された糸島シティマップ《発行・制作（株）ゼンリン福岡支店》の掲載内容・医療機関名に誤りがありました。

17ページ医療機関名・歯科の欄で、「ほりデンタルクリニック」は、正しくは「ほりデンタルクリニックホワイトエッセンス」です。お詫びし、訂正します。

編集後記

先月号より広報『いとしま』をリニューアル。「見やすくなった」「親しみやすくなった」とご感想をいただき安堵（あんど）しています。

従来、市役所からのお知らせである「広報」が主体でしたが、リニューアル後は市民のみなさんへインタビューする「広聴」の機会が増えました。その人の経験、知識、まちづくりや市政への思いなどを伺いながら、「広聴」のたいせつさを再認識しています。（三嶋）

糸島市の人口（9月末現在）

校区名	人口（人）	男性（人）	女性（人）	世帯数（世帯）
波多江	12,204	5,838	6,366	4,759
東風	7,968	3,961	4,007	3,056
前原	10,854	5,069	5,785	4,231
前原南	8,784	4,092	4,692	3,518
南風	8,731	4,189	4,542	2,898
加布里	7,541	3,573	3,968	2,869
長糸	2,176	1,026	1,150	768
雷山	3,848	1,871	1,977	1,389
怡土	7,477	3,653	3,824	2,747
一貴山	3,620	1,700	1,920	1,281
深江	5,400	2,503	2,897	2,032
福吉	4,186	1,955	2,231	1,492
可也	9,032	4,315	4,717	3,163
桜野	2,743	1,306	1,437	926
引津	5,640	2,639	3,001	2,071
合計	100,204	47,690	52,514	37,200
先月比	-36	-32	-4	7

人権を考える

こころコラム

第2回糸島市人権・同和教育研究大会に参加して

人権・同和教育広報委員　榊　勝（県教委児童・生徒相談員）

去る8月27日、第2回糸島市人権・同和教育研究大会（特別講座、分科会、全体講演）が開催されました。1日の研修で、参加者の人権認識を深めることができたのではないでしょうか。

特別講座Ⅰでは

NPO法人子どもとメディア専務理事の古野陽一氏が「ケータイ・ネットと子どもの人権」というテーマで話されました。『今の子どもたちはケータイなしでは生きていけなくなってきている。ケータイは、正しく使えば魔法のツールにもなり、誤って使えば凶器にもなる。正しく使うように親は指導する責務がある。

予防策として、①ケータイを通して親子の対話を図る ②目的・理由をはっきりさせる ③ケータイ使用力をつける ④ルールをつくるなど、ケータイを通して、親子のコミュニケーションを深めることがたいせつである』と講演されました。

特別講座Ⅱでは

玄海第一育生園施設長の和田勝宣氏による「障がい者の人権を考えよう」というテーマでの講演でした。

『2006年、国連で採択された「国連障害者の権利条約」の中に「合理的配慮の欠如は差別である」と明記されている。みなさんには、合理的配慮を正しく認識し、障がい者に向き合ってほしい』と述べられました。

施設利用者も一緒にステージに上がり、発表や歌を織り交ぜての講演で、聴衆に感動を与えました。

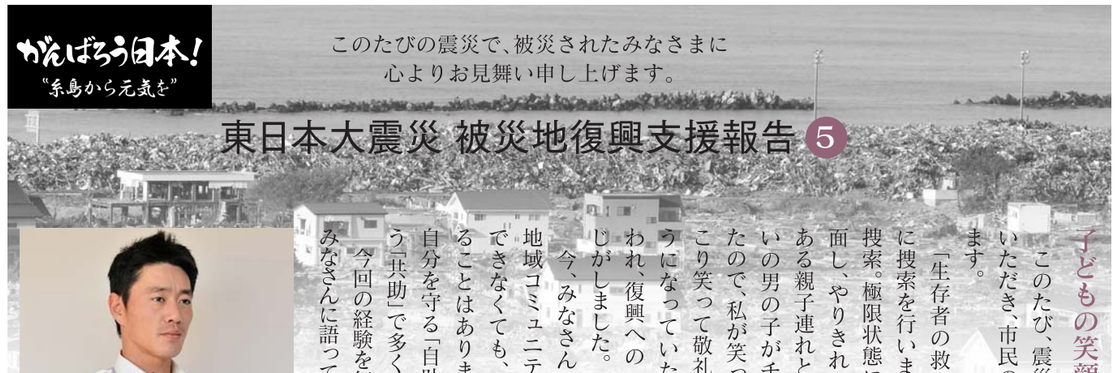
全体講演では

TBSテレビ報道局解説・専門記者室長の杉尾秀哉氏が「報道と人権」というテーマで講演されました。さらに『メディアは視聴率を第一に考える。メディアの報道が常に正しいとは限らない。批判的に見ることも重要である』と述べられました。また、『メディアリテラシーとして、①人権の多様性を認識する ②相手の立場で物事を考える ③ステレオタイプで物事をとらえない ④主体的に判断するなどで、我々はメディアリテラシーを身につけることがたいせつ』とまとめられました。

最後に

各分野における実践を発信し、討議に参加し、意見交流をすることで、参加者のみなさんが各実践に学ぶ絶好の機会を得られたことは有意義だったと思います。

人権・同和教育啓発においては、「感動を与えることが人の心を動かす。無関心はもっとも怖い差別である」と思います。



子どもの笑顔に見た復興への光

このたび、震災復興支援に携わらせていただき、市民のみなさまに感謝しています。

「生存者の救出」という強い使命を胸に捜索を行いましたが、現実はご遺体の捜索。極限状態にある現実の厳しさに直面し、やりきれない気持ちでいたとき、ある親子連れと出会いました。5歳くらいの男の子がチラチラとこちら見てきたので、私が笑って手を振ると、彼もにっこり笑って敬礼してくれました。折れそうになっていた私の心はその笑顔に救われ、復興への一筋の光を見たような感じがしました。

今、みなさんに伝えたいこと。それは地域コミュニティのたいせつさ。一人でできなくても、3人、4人集まればできることはあります。災害時には、自分で自分を守る「自助」、そして地域で助け合う「共助」で多くの命が救われるのです。

今回の経験を無駄にしないよう、市民のみなさんに語っていきたいと思っています。

末安哲一／31歳

糸島消防本部2部本署救急小隊
機関員兼総務課庶務係

3月14日～3月21日
福岡県緊急消防援助隊糸島隊
宮城県亘理郡山元町で捜索活動などに従事